

株主通信

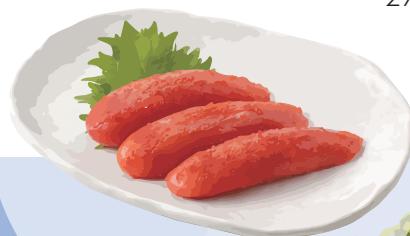


JPX

東証上場

証券コード

2700



辛子明太子



もつ鍋



とんこつラーメン



夢つくし

太宰府天満宮

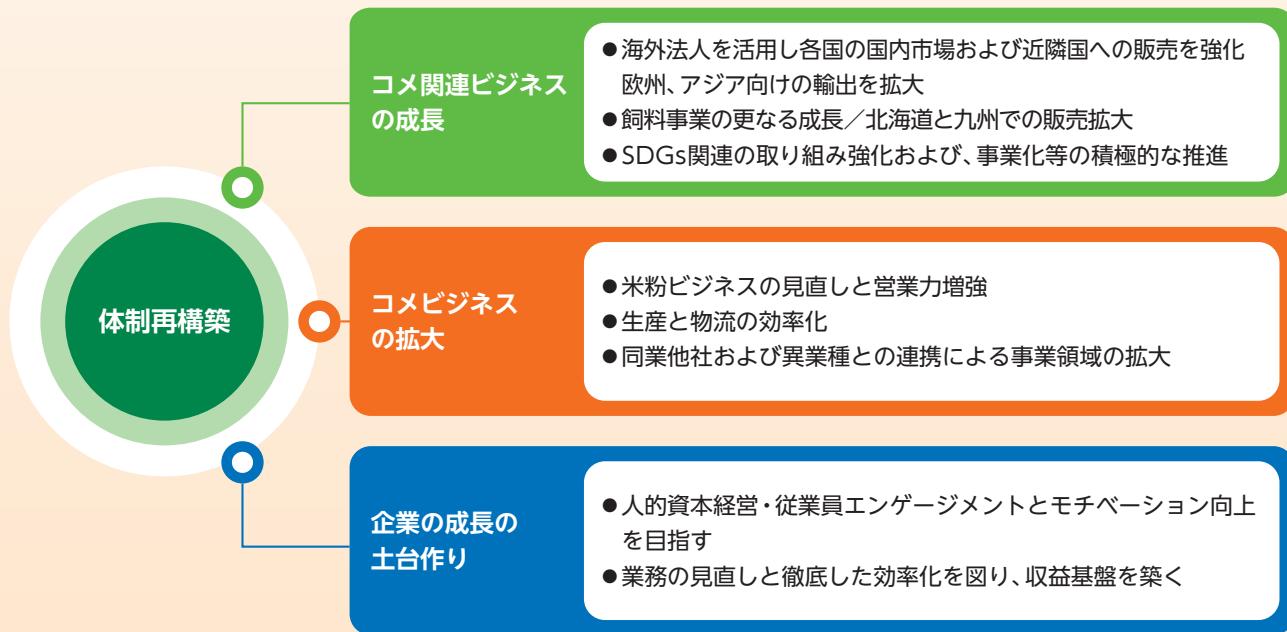
日本の
特産品

福岡編

詳細は
裏表紙へ！

中期3カ年経営計画 2023年12月期－2025年12月期

当社は、「コメおよびコメ関連食品を世界中に販売し、素晴らしさを発信することで人々の健康で楽しい生活を支えていく」ことを経営理念として掲げています。しかしながら、日本の人口減少と少子高齢化に伴いコメ消費量は減少の一途をたどり、厳しい事業環境となっています。このような状況のなか、当社はお米の供給で日本の食を長年支えてきたことを強みに、この環境の変化をビジネスチャンスと捉え、事業規模の拡大と企業の成長のための体制再構築を軸とした中期3カ年経営計画を策定いたしました。



2022年12月期

連結売上高
1,047 億円

2025年12月期

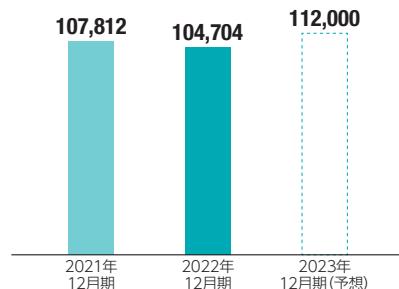
連結売上高
1,200 億円

営業利益率
1% 以上

事業規模・事業領域の拡大に向けた体制再構築の期間とし、
収益体制を作りながら成長を図る

売上高

(単位:百万円)



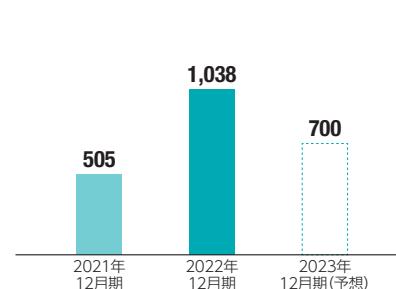
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



米穀事業



売上高

84,916百万円
(前年同期比7.5%減)

営業利益

1,655百万円
(前年同期比89.3%増)

- 需給の緩み継続による令和3年産米の取引価格の下落傾向および量販店における家庭用向けの販売低調により減収。
- 需給環境に応じた仕入ルートの開拓と複線化を推進し、原料調達や提案営業において優位性を確保できたことにより大幅増益。



飼料事業



売上高

9,359百万円
(前年同期比25.6%増)

営業利益

515百万円
(前年同期比31.8%増)

- 国産飼料原料の需要が高まり価格が上昇するなか、糖糠類や穀類の調達と販売を強化したことが奏功し増収。
- 原料全般における仕入・販売エリアの拡大、コストの削減に努めたことにより増益。



鶏卵事業



売上高

6,815百万円
(前年同期比30.3%増)

営業利益

21百万円
(前年同期比36.9%減)

- 鶏卵相場が大きく変動するなか、量販店向けの家庭用ブランド卵の販売数量増加、消費者ニーズに合わせた鶏卵・鶏肉加工品の販売強化により増収。
- 物流費をはじめとするコストの上昇が収益を圧迫したことにより減益。



食品事業



売上高

3,613百万円
(前年同期比8.4%増)

営業利益

45百万円
(前年同期比39.1%増)

- 米菓メーカー向けの加工用原料米の販売およびコンビニスイーツの原料としての穀粉販売が好調に推移し増収増益。

更なるビジネス拡大に向けた
基盤強化に取り組み、
社会に貢献する企業として
価値を高めてまいります。

代表取締役
社長執行役員COO

竹内 伸夫



Q 2022年12月期の業績概況について
お聞かせください。

A 売上は減少するも、損益面では
上場以来の最高益となりました。

当社の主力である米穀事業において需給の緩みによって令和3年産米の取引価格が下落したことに加え、家庭用向けの販売が低調であったこと等から、売上高は104,704百万円(前年同期比2.9%減)となりましたが、販売に見合った仕入れの徹底で在庫数量の適正化を図ったほか、需給環境に応じた仕入ルートの開拓と複線化に努めたことで原料調達および提案営業において優位性を確保できました。加えて、輸入飼料原料の価格が高騰するなか飼料事業において想定以上に国産飼料原料の需要が高まり利益が上振れしたこと、世界の穀物相場が高騰するなか海外子会社にお

いて価格転嫁が奏功し利益の確保ができたこと等により、営業利益は1,316百万円(前年同期比150.2%増)、経常利益は1,371百万円(前年同期比123.3%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は2001年の上場以来の最高益となる1,038百万円(前年同期比105.6%増)となりました。

Q 前中期経営計画(2020年-2022年)に
ついての総括をお聞かせください。

A 米穀事業の構造改革が進む一方、新規事業・新商品開発には課題も残りました。

前中期3カ年経営計画では米穀事業(国内)の構造改革を目指しました。成果の一つが、安定的な調達と機動的な調達の両立を目指した仕入構造改革です。当社グループは大手量販店等の優良

な顧客基盤を強みとし、大量のコメを安定供給するために主に全農系統から調達しています。同時に生産者や農業法人、JAを含む仕入ルートの特徴化を推進し、コメの需給バランスや価格変動リスクに対応できる体制を整備しました。米卸である当社の重要な役割の一つは、お米を栽培する生産者とお米を使用する実需者をつなぐことです。我々は双方とのコミュニケーションを通じて販売計画を立案し、仕入・販売の回転率の向上、販売先および販売量の早期確定による余剰在庫の抑制につなげました。多収穫米の拡大推進も生産と実需をつなぐ取り組みの一つであり、継続して行っています。

また、重要課題であったコスト削減による競争力強化についても、自動化・省力化の推進により旗艦工場である桶川工場の生産効率向上を図るとともに、全工場を対象に機能の選択と集中を図るなど自社精米工場の体制再構築を現在も進めています。併せて各産地の協力精米工場への委託精米を推進していますが、委託先JA等との資本提携を通じて品質管理体制の強化にも努め、自社工場と同水準の品質を確保しています。

米穀事業の構造改革で成果を挙げる一方で、新規事業・新商品開発についてはコロナ禍を受けて思うようにプロジェクトが進みませんでしたの

で、新中期経営計画期間における継続テーマとして取り組んでまいります。

Q 新中期3カ年経営計画の概要をお聞かせください。

A 構造改革を地道に継続しつつ、更なるビジネス拡大と経営基盤の強化を図ります。

2023年から新たにスタートする3カ年の中期経営計画では最終年度の経営目標を連結売上高1,200億円 営業利益率1%以上としました。「企業の成長のため体制再構築」を経営方針として掲げており、収益を確保できる体制を作りながら企業の成長を図っていくことがテーマです。主要施策として、「コメビジネスの拡大」、「コメ関連ビジネスの成長」、「企業の成長の土台作り」に取り組みます。コメビジネスの拡大では、組織再編に踏み込んだ構造改革を進めつつ、既存の米粉のビジネスを見直すとともに、エリア戦略を踏まえた生産と物流の効率化、他社との連携強化に注力していきます。また、コメ関連ビジネスの成長に向けては、飼料事業の更なる成長、木徳神糧グループ全体の経営資源とノウハウを活用した各事業セグメントの拡大、そしてSDGs関連の取り組みについては事業化にも積極的に取り組めます。

新規事業・新商品開発については、新商品開発プロジェクトチームを立ち上げ、産学連携に加えて異業種連携を強化してまいります。また、当社グループはウルトラマイクロバブルを利用した無洗米加工でご家庭だけではなく生産工程での節水も図り、さらに減プラスチック素材の米袋を使用した環境配慮商品の「e-come(イーコメ)」シリーズを販売しております。全国的な拡販に取り組むとともに、今後も環境保全等の社会テーマに即した商品開発に取り組んでまいります。

海外事業ではコロナ禍で変化したニーズに対応しながら、世界有数の食料輸入国である中国市場に向け、連結子会社である木徳(大連)貿易有限公司を通じて中国最大の食品会社である中糧集団と協力して販売地域を広げる一方、国内工場からの輸出に必要となる工場の認証取得も進めています。また、ベトナムの現地法人アンジメックス・キトク有限会社のジャポニカ米を、近年日本食の文化が広まりつつある欧州や人口が増加し続けている東南アジア等、需要が高まっている市場に向けた販売を強化してまいります。

さらに新中期経営計画では、こういった施策を推進するため、原点に戻った企業の成長の土台作りにも積極的に取り組みます。間接部門の業務

見直しや部門の集約による効率化、従業員のエンゲージメントとモチベーションの向上に向けた施策を展開してまいります。

Q ステークホルダーへのメッセージをお願いします。

A 未来への基盤作りとして着実に目標を達成し、中身を伴う拡大を進めます。

新中期経営計画は、今までの方針や施策を転換するものではありません。しかし、人口減少や生産者の高齢化等に伴うコメ生産量と消費量の減少、コメ卸業界の再編など、社会構造や業界が大きく変わるなか、当社グループ自身も変革し続けなければなりません。私のモットーである現場主義とコツコツと努力する強みを経営に反映し、計画数値を上回る成果を目指します。

そして、今後の当社グループの経営にとって大切なのは、従業員と共に成長し続ける企業であることだと思います。従業員は重要なステークホルダーであり、企業として従業員一人ひとりが精一杯働ける場を提供し、お客様に気持ちよくお取引いただけることが結果として企業価値を高め、株主の皆さまを含む全てのステークホルダーへの還元につながります。引き続き、末永くご支援いただけますようお願い申し上げます。



環境にもおコメにも優しいおコメ

イー コメ

e-comeを発売!

環境配慮型の無洗米「e-come」の販売を開始いたしました。「お米にも自然にもやさしく」をコンセプトとした、環境にやさしい製造方法・パッケージを使用し、洗わず手軽に食べられるお米です。



e-comeのここがすごい!

最新の無洗米加工技術で
高い節水効果

「ウルトラマイクロバブル」でぬかを除去するのに使う水の量は、普通のお米をご家庭で洗米する場合と比較して

約 **1/100**

包装フィルムに
植物由来のプラスチックを使用

当社従来商品のフィルムと比較して
石油資源由来プラスチックの使用量

約 **30%** 削減
温室効果ガス排出量
約 **19%** 削減

化石燃料を使用せず
環境に貢献

従来の無洗米加工機と比較して
CO₂ガス排出量

約 **70%** 削減

※加工機製造メーカーでの比較

**ウルトラマイクロバブルで効率的に
お米の表面のぬかを除去**

直径1 μm未満の超微小な泡「ウルトラマイクロバブル」の特性を活用し、お米を傷つけることなくぬかを除去しています。お米のおいしさを逃さない新しい製法です。

直径1 μm未満の超微小な泡が
米の表面の肌ぬかを吸着
※1 μm=0.001mm



**加工で発生したとぎ汁を
液体飼料として再利用**

加工で発生するとぎ汁は、栄養が豊富に含まれているため、精米工場から回収・加工し、養豚向けの液体飼料として再利用しています。これにより、食品のリサイクルループを構築しています。



すずき まさし
鈴木 昌治 社外監査役(2022年3月30日就任)

Q 経歴について教えてください。

A 出身は福井県であり、実家は米農家です。学生時代に運良く公認会計士試験に合格し、現在の有限責任監査法人トーマツに入社しました。以来、定年退職まで43年間在籍し、その間に銀行、半導体部品メーカー、鉄道会社、旅行会社、住宅建設会社などの会計監査を担当しました。また、米国のロサンゼルスに5年間駐在するとともに、日本公認会計士協会の常務理事・副会長も務めました。これまでの経験と人とのご縁は、私の人生の大きな財産となっています。当社の社外監査役への就任もご縁の賜物です。

Q 社外監査役の立場から当社の印象を教えてください。

A これまで多くの会社を見てきましたが、当社は堅実で質素な会社であるとの印象です。また、監査役監査に対する役職員の方々の真摯な対応や社会貢献活動も評価に値します。ただ当社は、工場設備等の事業規模に比して利益率が低いように思います。「食糧安全保障」の重要性が増している現代において、当社をもっと評価されるべき会社だと思います。

今般、当社は中期経営計画を策定しましたが、人材の拡充、新規事業や海外事業の更なる進展を含め、この計画の達成を期待します。

Q 社外監査役としての抱負をお聞かせください。

A 監査は英語で「Audit(オーディット)」といいます。すなわち、「聞くこと」が監査の原点です。私は1年前に社外監査役に就任しましたが、当社の事業内容や歴史を習得すべく、これまで本社、工場、支店等で多くの役職員の方々からお話を伺いました。この知見を基に2年目以降も、社外監査役の本来的役割である「会社から独立した立場の者として、公正かつ客観的な視点から、業務監査および会計監査を行うこと」を通じて、当社の企業価値の向上に寄与していきたいと考えています。



滋賀工場での監査の様子
(写真中央)



● 会社概要

商号 木徳神糧株式会社
 事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業
 本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22
 本社所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-8
 木徳神糧小川町ビル
 TEL: 03-3233-5121(代表)
 FAX: 03-3233-5131
 資本金 5億2,950万円
 従業員数 275名(臨時雇用者を除く)
 ホームページ <https://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

● 株式情報

- (1) 発行可能株式総数 6,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 1,706,000株
- (3) 株主数 2,128名
- (4) 大株主

株主名	所有株式数	持株比率
木村 良	108千株	6.70%
濱田精麦株式会社	82	5.08
株式会社神明ホールディングス	80	4.93
大和産業株式会社	70	4.32
全国農業協同組合連合会	60	3.70
株式会社三菱UFJ銀行	60	3.70
木徳神糧従業員持株会	40	2.52
株式会社三井住友銀行	37	2.29
農林中央金庫	37	2.29
ヤマエ久野株式会社	30	1.88

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、自己株式(85,797株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

● 役員 (2023年3月30日現在)

取締役 代表取締役会長 C E O 平山 惇
 代表取締役社長執行役員 C O O 竹内 伸夫
 取締役副社長執行役員 鎌田 慶彦
 取締役常務執行役員 稲垣 英樹
 取締役常務執行役員 岩苔 永人
 取締役執行役員 石田 俊幸
 取締役執行役員 山田 智基
 取締役執行役員 管 益成
 取締役相談役 木村 良
 取締役(社外) 秋岡 栄子
 執行役員 上席執行役員 石森 好宏
 上席執行役員 金子 泰彦
 執行役員 郡司 和久
 執行役員 中田 基春
 執行役員 今野 稔
 執行役員 鈴木 敬夫
 執行役員 内田 英一
 執行役員 鈴木 平
 監査役 監査役(常勤) 谷本 和則
 監査役(社外) 鈴木 昌治
 監査役(社外) 尾崎 達夫

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月に開催いたします。
 基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
 配当金受領株主確定日 12月31日および中間配当金の支払を行うときは6月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所
 公告方法 電子公告(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主優待

100株以上ご所有の株主の皆さまに株主優待品を贈呈いたしております。

6月末現在の株主様

200株以上400株未満	▶ 2,000円相当の米穀製品
400株以上	▶ 4,000円相当の米穀製品等※

※ うち、2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

12月末現在の株主様

100株以上200株未満	▶ 2,000円相当の米穀製品
200株以上	▶ 3,000円相当の米穀製品等

ポイント1

年2回の
贈呈

12月末現在の株主の皆さま

▶ 3月頃発送

6月末現在の株主の皆さま

▶ 10月頃発送

ポイント2

米穀商品をお届けします。



* 優待内容や商品デザインは、変更する場合があります。

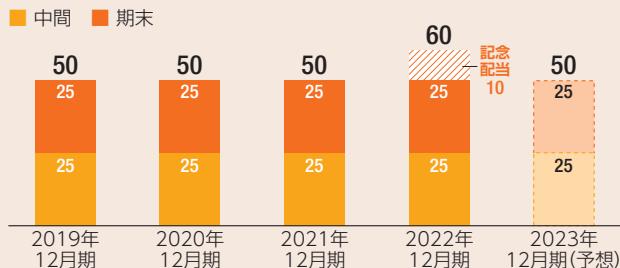
商品の詳細は株主優待に同封される案内をご覧ください。

配当金

当社は株主様に対する利益還元を重視しており、安定的な配当の継続を業績に応じて維持することを基本方針としております。その実現のためには盤石な経営基盤の確保が重要であり、株主様への利益還元と同時に内部留保の一層の充実を図りつつこれに取り組んでまいります。

■ 1株当たり配当金の推移

単位：円



株主アンケートにご協力ください

株主の皆さまのお声から今後の活動に反映させていただくため、アンケートを実施しております。同封のアンケートハガキにご記入の上、最寄のポストへご投函ください。何卒ご協力をお願い申し上げます。



全国の子ども食堂へお米を寄付

当社は、昨年8月より、農林水産省の「新型コロナウイルス影響緩和特別対策事業」を活用し、「認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ」を通じて、コロナ禍でも子どもたちの健康のために取り組みを続けている全国の子ども食堂へお米を寄付する活動を実施しました。全国の子ども食堂延べ2,580カ所へ360トン(5キロ×72,000袋)のお米を提供し、沢山の感謝のメッセージをいただきました。

未来を担う子どもたちがお腹いっぱいご飯を食べることは、将来的にお米の消費拡大にもつながると考えております。

今後も、日本の食を支える企業の一つとして、お米を通じた社会貢献を推進してまいります。



左：当社 竹内 伸夫 社長
右：むすびえ 湯浅 誠 理事長

商品紹介

もちっと！もち玄米（2kg）

国産のもち玄米を原料にした浸漬不要の食べやすい玄米商品です。袋の口は開け閉めしやすいチャック式で、立たせて保存できるスタンドタイプです。加熱蒸気で殺菌加工した玄米なので、さっと洗うだけですぐに炊飯できます。冷めても固くなりやすく、お弁当やおにぎりにしても美味しくいただけます。

オンラインショップ

KOMETETS
<https://komets.jp/>



「玄米に興味はあるけど手間がかかりそうで、どう炊けば良いのか分からない」という方にお試しいただきたい商品です。もち玄米は玄米ともち米両方の特徴を持っているため、玄米のプチとした食感に加えてもち米のモチとした食感があります。

この独特の食感を気にいってリピート購入されるお客様も増えており、よく噛んで食べることで甘みも感じられると社内でも好評です。是非ご賞味ください。



東日本営業部門
にしだ けんた
西田 健人
(2021年入社)

ホームページのご案内

ホームページをリニューアルしました！

今回のリニューアルでは、当社らしさを意識してデザインを見直したほか、より当社に対する理解を深めていただけるような新コンテンツを追加し、内容の充実を図りました。



<https://www.kitoku-shinryo.co.jp/>



新コンテンツのご紹介

① 早わかり木徳神糧

当社のビジネスや特徴を簡単にご理解いただけるコンテンツをご用意しています。



② 知る・学ぶ・楽しむ

おコメや木徳神糧に関するマメ知識を楽しく学べるコンテンツをご用意しています。



③ サステナビリティ

当社のサステナビリティに関する方針および実際の取り組みをご紹介します。



日本の特産品

(表紙から)



アジア大陸と日本をつなぐ文化の玄関口となっていた福岡県。ここから稲作が日本に広がったという説もあります。今回は、古くからおコメと縁のある福岡県の名所と特産品を紹介します。

1 太宰府天満宮

菅原道真の墓所であり、全国に約1万2千社の天神を祀る神社の総本宮です。境内には撫でるとご利益があると言われる「御神牛」があり、「学問・至誠・厄除け」の神社として年間に約1千万人が参拝に訪れます。

3 とんこつラーメン

白濁した豚骨スープに極細のストレート麺、きくらげや紅ショウガ、辛子高菜をトッピングする点が特徴的な博多の名物料理です。札幌・喜多方と並び、日本三大ご当地ラーメンの一つとなっています。

5 辛子明太子

17世紀頃には朝鮮半島で広まっていたとされている、すけとうだらの卵巣に唐辛子を原料とする調味液等で味付けした料理です。すけとうだらを韓国語で「明太」と書くことが明太子の名前の由来です。

2 夢つくし

「コシヒカリ」と、良食味・絹のようなつややかさが持ち味の「キヌヒカリ」との交配によって誕生した品種です。つややかな光沢ともちもちとした食感が特徴で、味も高い評価を受けています。

4 もつ鍋

第二次世界大戦後、炭鉱夫が食べていたものがルーツとされています。牛や豚の小腸などのホルモンを臭み消しのニラ・キャベツ・ニンニクと煮込み、醤油や味噌で味付けした鍋料理です。